

ユネスコ文化講座

主催:目黒区教育委員会 主管:NPO 法人目黒ユネスコ協会

「今のイラク・シリアの子供たちの現状」

イラク戦争から15年。IS(イスラム国)が去った後のモスルの小児がん病院は、焼け焦げ、弾痕と瓦礫が散在したままでした。今こそ、戦争や紛争のない平和な世界を子供たちに手渡すことはできないのでしょうか。

日本イラク医療支援ネットワーク(JIM-NET)を立ち上げ、イラクの小児がん支援・シリア難民支援に尽力される佐藤真紀さんをお迎えして、お話し頂きます。



病院の庭には、タンポポだけが咲いていました



日時:11月24日(土)14:00~ (無料)

会場:ユネスコ美術展会場「[目黒区美術館区民ギャラリー](#)」

(目黒区目黒2-4-36(区民センター内) Tel 03-3714-1201)

講師:佐藤 真紀氏(NPO 法人 JIM-NET 副代表・事務局長)



1961年生まれ。JIM-NET事務局長。㈱ブリヂストンで研究員として勤務。1994年、青年海外協力隊でイエメンに赴任するも内戦が勃発。その後シリアに振替派遣。2年間をダマスカスで過ごす。2004年にイラク医療支援ネットワーク(JIM-NET・ジムネット)を立ち上げ、現職に。著書「戦火の爪あとに生きる・劣化ウラン弾とイラクの子どもたち」(童話館出版)「ハウラの赤い花」(新日本出版社)ほか多数。共著「希望 いのちのメッセージ(共著者:鎌田 實)」(東京書籍)ほか

対象者・定員:目黒区在住・在勤・在学の一般市民 60名(先着)

申込み方法:メール(お申込みは[こちらから](#))・電話・FAX・にて下記事務局までお申し込みの上、直接会場へお越しください。定員オーバーの場合のみ、ご連絡いたします。

(「ユネスコ文化講座11月24日」・名前・連絡先・参加人数を明記してください)